

2015年7月27日

富国生命保険相互会社
アフリカ開発銀行
J . P . モ ル ガ ン

アフリカ開発銀行発行「インフラストラクチャー・ボンド」への投資 債券投資を通じた社会貢献へ

富国生命保険相互会社(社長:米山好映、以下、「フコク生命」)は、この度、アフリカ開発銀行が発行するインフラストラクチャー・ボンド(以下、「本債券」)を総額2,000万米ドル全額を購入し、7月24日に払込みが完了しましたのでお知らせいたします。

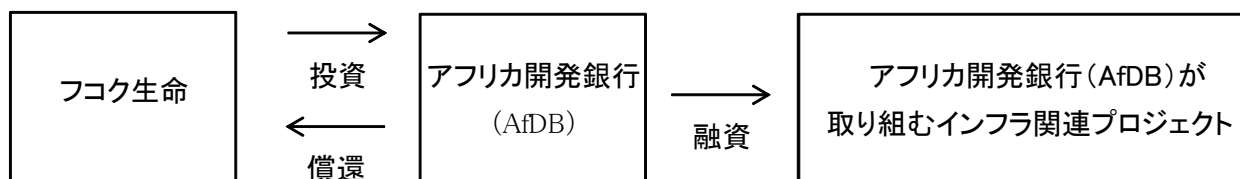
アフリカ開発銀行が発行する債券を私募形態により購入しました。本取引は、J.P.モルガンを通じて、資金借入先であるアフリカ開発銀行と、資金貸出先であるフコク生命の直接的な協議を経て実現しており、多数の投資家が参加する大型の公募債とは一線を画した形態となっています。

本債券を通じて調達された資金は、アフリカ開発銀行が域内加盟国の開発支援のために取り組む交通・エネルギー・水資源などインフラストラクチャーに関連するプロジェクトへの融資案件に最大限活用されます。

発行概要

発行体	アフリカ開発銀行(AfDB)
起債通貨	米ドル
発行総額(購入額)	2,000万ドル
受渡日	2015年7月24日
償還日	2025年7月24日
主幹事	J.P. Morgan Securities plc

インフラストラクチャー・ボンド購入による社会的責任投資の仕組み



フコク生命では「社会への貢献」を経営理念のひとつに掲げており、企業の社会的責任(CSR)を果たすため、生命保険事業の高い公共性を踏まえ、本業である生命保険事業の健全な運営に努めると同時に、よりよい社会づくりを目指してさまざまな社会貢献活動に取り組んでおります。

今回のインフラストラクチャー・ボンドの購入については、ご契約者さまの大切な資金を運用するにあたって、収益性の確保のみならず、社会貢献事業への支援も果たしうる手法であると位置づけており、今後も、同様の投融資を継続的に実施していきます。

■ アフリカ開発銀行について

国際開発金融機関であるアフリカ開発銀行は、アフリカ大陸の経済成長と社会発展のために必要な資源を動員することを目的として1964年に設立され、54のアフリカ域内加盟国と、26のアフリカ域外加盟国(欧州、北米、南米、中東、日本を含むアジア)によって所有・運営されています。主な役割は、域内加盟国の経済的開発および社会的進歩に個別に、そして集団的に寄与することです。格付けは、ムーディーズ Aaa、スタンダード&プアーズ AAA、日本格付研究所(JCR) AAA。

■ アフリカ開発銀行インフラストラクチャー・ボンドとは

[債券概要説明]

アフリカ開発銀行の策定する長期戦略(2013-22年)では5つの主要な柱が掲げられており、インフラ開発はその柱の一つとなっています。アフリカにおける輸送、エネルギー、水道等への投資は数千万人の現地住民の生活改善につながり、また、GDP 成長率を推定年2%ポイント押し上げると予想されています。アフリカ大陸におけるインフラ融資ニーズは増大傾向にあります。多くのインフラストラクチャー関連プロジェクトは長期に及ぶものであり、インフラストラクチャー・ボンド発行を通じて長期資金を確保することの重要性が一段と高まっています。

以上